

特定非営利活動法人 ザ・ピープル 吉田 恵美子さん



活動内容①

「小名浜地区交流サロン」

地震・津波の被災の大きかった地域に原発避難者を迎え入れたことで起きたコミュニティの断絶に向き合おうと、商業施設の空きテナントを活用し利用者を限定しないサロンを運営し、人とのつながりを求める人が気軽に立ち寄り、接点を一つでも多く生み出せるように試みた。

吉田さん年表

- 1990年 専業主婦から、いわき市派遣の海外視察団メンバーと共に任意団体ザ・ピープル設立に参画
住民主体のまちづくりを目指し古着リサイクル活動に着手
- 2004年 NPO法人格取得 「ふくしまを古着を燃やさない県に！」をスローガンに活動広域化
- 2011年 東日本大震災発生 小名浜地区災害ボランティアセンター立ち上げ、その後復興支援ボランティアセンターに改組 商業施設でのサロン活動実施
- 2012年 「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」スタート
被災者支援団体のネットワーク組織設立に参画
- 2015年 避難者と共にコットン栽培を行う「みんなの畑」スタート
- 2017年 浜通りコットンベルト化構想着手
- 2018年 「フードバンクいわき」着手

活動内容②

「みんなの畑」

震災直後の耕作放棄地拡大をみんなの力で食い止めようと始まった「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」（耕作放棄地での有機農法での和種の茶綿の栽培からもの作りに至る一連の取り組み）の中でも、原発避難者が地域住民と自然な形で交流できる場づくりとして、コットン栽培への参画を促し、毎月20名ほどが集まって来て、農作業にあたっている。このメンバーがいわき市内や富岡町での栽培の手伝いにも赴く「援農隊」も組織して栽培支援にも乗り出している。また、「みんなの畑菜園」での有機野菜の栽培も行われ、夏祭りや収穫祭での食材として使用するほか、今年度はコミュニティ食堂への食材提供にも活用されている。



活動内容③

「フードバンクいわき」

今後地域の中に生活困窮に陥る人たちが増えることを懸念して、民間でそのセーフティーネットを構築しようと立ち上げ。これまで団体が持つ「市民の協力を得て（古着を）集めて活用する」というノウハウを活用して、自分たちの強みを生かした支援の形を探る。その際、困窮者の相談窓口との連携により事業を進め、福祉的な部分は専門家の力を借りるスタイルを取る。